

事務事業名	コード	27500	旭市特産品開発事業	予算科目	会計	款	項	目	担当課	商工観光課	担当班	商工労政班
基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	旭市特産品開発事業補助金交付要綱	一般	7	1	2	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策)画1	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	6	新たな地域産業の創出	戦略事業	30	特産品開発事業					<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開			戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 24 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●旭市には他に誇れる地域資源(農畜水産物、生産に係る技術、伝統等)が数多くあるが、シンボルとなるような特産品が少ない状況である。これらの状況のため、新商品等の特産品開発する事業者の方に事業費の一部を支援するとともに、開発更にはマーケティング活動に係る研修会の開催等を実施し、旭市のシンボルとなる特産品を作り出し、地域の特性を活かした地域産業の振興を図ることを目的とする。なお、開発等に当たっては本市の産業特性をかんがみ農工商連携を核に新商品の開発を進めている。 ●主な支援内容:①特産品等新商品の開発にかかる費用の一部補助、②特産品等新商品に係る企画・開発及び販売等の支援 ●補助対象者:市内事業者等 ●補助率:補助対象経費の1/2以内で限度額50万円 ●補助年限:3年間 ●補助申請募集期間:4月(予算状況に応じて9月に2次募集) ●交付決定審査方法:市職員及び商工会推薦者による審査会
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
・旭市には、多くの食材があるがシンボルとなる土産品がないため。 ・道の駅の開設もあり、旭市の土産品となる新商品の開発による地域経済の活性化が見込まれるため。	・制度が周知され、制度を活用しての新商品、特産品開発に関心を持つ人が増え、申請者は増加傾向にある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・新商品開発を行うには初期投資が大きな課題であったが、本事業による経費の一部支援により取り組みのキッカケとなり概ね高評価である。 ・一部の特産品については、消費者からも高評価を得ているとともに、旭市の産業活性化に結びついている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)	
1.負担金補助及び交付金	0	千円	4,629	1,748	980	0	2,165	
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円		事業費計(A)	千円	4,629	1,748	980	0	2,165
1.国庫支出金	0	千円						
2.都道府県支出金	0	千円						
3.地方債	0	千円						
4.その他	0	千円	4,629	1,748	500	0	2,165	
		千円	0	0	480	0	0	

従事職員数 常時 1人 最大 8人 × 1日 = 延べ 8人

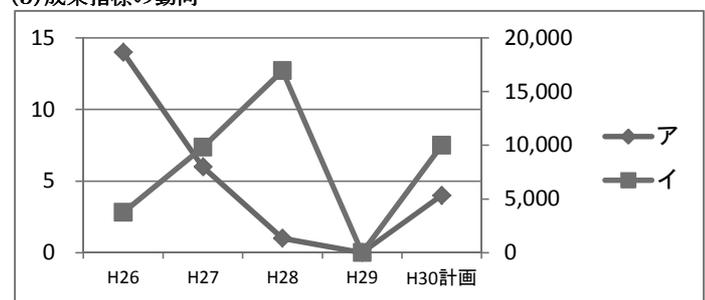
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・販売に対する支援。(各種イベント等への参加、情報提供)		ア 補助金交付申請者数	件	15	9	1	2	4
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 市内事業者又は市内に住所を有する個人。 意図 旭市の産業活性化を図るため、特産品となる新商品を開発するとともに販売に結びつける。 対象意図		ア 補助金交付件数	件	14	6	1	0	4
			イ 開発された特産品の売上高	千円	3,751	9,810	16,944	0	10,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果				
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通	かなりある		①		
	小さい	ある程度ある		②	④⑤	(4)
		ほとんどない	③			
			⑥			
			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	補助金交付にいたっていないため
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	補助金交付にいたっていないため
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期: 随時 内容: 事業要項の変更を含め検討し、市民(事業者)の使い勝手のよい事業にする。 今後の方向性: <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他() 随時期: 多くの事業者にも活用してもらうよう事業の周知に努める。